

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、ありたま圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和3年4月21日（水）9時30分から11時30分まで
参加者	委員：9人 事務局：1人 その他：9人（高齢者福祉課：1人、東区長寿保険課3人、積志協働センター1人、包括支援センターありたま：1人、浜松市社協：3人）
場所	積志協働センター 302 講座室
内容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 昨年度（令和2年度）の振り返り 事務局より令和2年度に開催した協議体会議の開催日と協議内容について報告。</p> <p>3 今年度（令和3年度）の進め方 今年度の協議体会議の開催回数と開催時期について協議。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：年4回 ・開催時期：[1回目] 4月 [2回目] 7月 [3回目] 11月 [4回目] 2月 <p>4 協議事項</p> <p>■住民主体サービス補助金について 高齢者福祉課より別紙「浜松市住民主体サービス事業費補助金の手引きの見るべきポイント」と別紙「浜松市住民主体サービス事業費補助金の手引き」を用いて説明。</p> <p>(1) サロンの拡充について</p> <p>■補助金についての意見や質疑応答</p> <p><u>委員からの意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンにて軽い運動をした場合の熱中症対策としてのお茶の提供について、検討してほしい。 ・予算書の記入例と、それに沿った決算書の記入例がほしい。 <p><u>委員から出た質問</u></p> <p>Q. 年度末払いということは、予算書のままの補助がされない可能性もあるということか？</p> <p><u>行政からの回答</u></p> <p>A. あくまでも年度当初の予定であるため増減する。予算書よりも支出が増えた場合補助金額も増額となる。確認のため領収書やレシートの保管が必要。</p> <p>(2) 外出支援の検討</p> <p>■事務局より進捗状況の報告 前回の協議体会議後、協議内容を踏まえた内容の見直しを行い、改めて運輸局に確認を行ったことを報告。</p> <p>■高齢者福祉課より福祉有償運送について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内では6箇所を実施。すべて法人が行っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・許可・登録不要の形よりも審査は厳しく、多くの書類が必要となる。 ・現状では、許可・登録不要の形または法人に協力を仰いではどうか？ <p>■ 高齢者福祉課より他圏域の状況について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他圏域では2～3地区が集まり開催しているので、共通の話はできず、各地区に分かれての話し合いとなっている。 ・他では、包括などからこんな相談が増えているなど身近な話をしているところもある。身近な話をしてみるのも一つ。 <p><u>委員から意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やろうと思うと壁にぶつかる。ゴールが見つからないこともやっていて苦しい。 <p>5 副会長挨拶</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度第2回協議体会議は令和3年8月4日（水）9時30分～積志協働センター3階302講座室にて開催する。 ・協議体会議とは別の場でも話し合いの機会を持ち、家事支援での外出支援ができるよう地域の方々とともに調整・検討していく。